

曲目紹介／メンデルスゾーン交響曲2番「讃歌」・・・団員の感想・・・

壮大で美しい交響曲です。1840年に作曲され、初演はその年の6月。ライプツィヒ市の聖トーマス教会にてメンデルスゾーンが指揮し、ゲバントハウス管弦楽団と合唱団、総勢500名で演奏されたそうです。メンデルスゾーン32歳のときです。グーテンベルクの印刷技術発明400年記念祭のため、ライプツィヒ市から作品を依頼されたメンデルスゾーンは、初めての印刷物が聖書であったことや、自身が以前から練っていた交響曲の構想などが重なり、オラトリオ「聖パウロ」以来の大曲になったとされています。

(※「聖パウロ」：2012年10月、湯浅卓雄指揮・関西フィルハーモニー管弦楽団・OSC で演奏経験あり。)

威厳に満ち、堂々とした交響曲として第1曲<Sinfonia シンフォニア>は始まります。第1曲を聴いていると間違いなく交響曲そのものですが、合唱が入る第2曲目以降は、その堂々とした曲想にメンデルスゾーン独特の祈りに満ちた曲想が加わっていきます。歌詞は旧約聖書です(メンデルスゾーン が所々に加筆)。

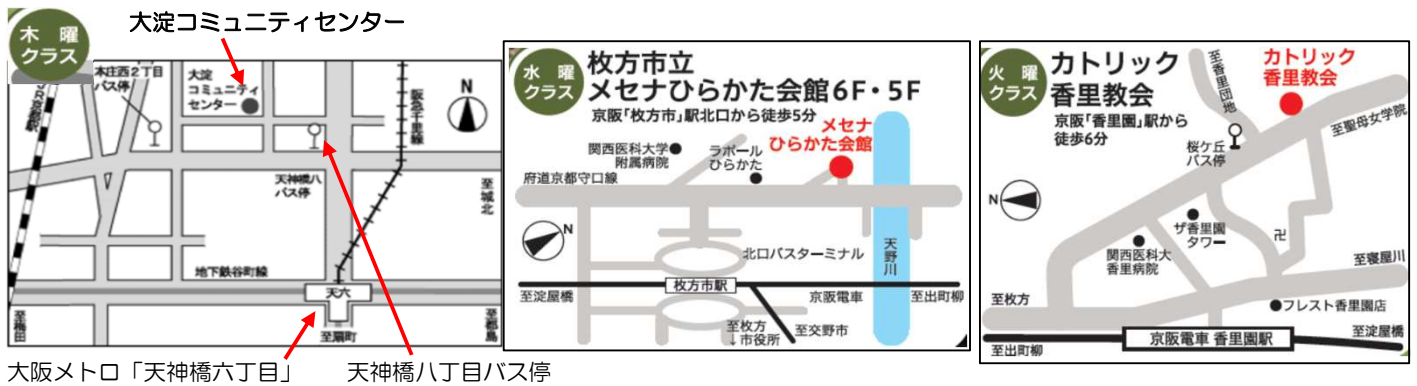
メンデルスゾーン が作曲したこの曲や詩篇の聖歌、或いはオラトリオは聖書に基づいた曲ですから、聴く者が祈りを感じるのには自然なことかも知れませんが、メンデルスゾーンの曲には、小さなアカペラの合唱曲や歌曲にも、一貫して祈りや救い、赦しの心を感じます。

その曲想は恐らく自身の信仰心と、当時忘れ去られていた「マタイ受難曲」を復活再演し、バッハの作品から多くを学んだメンデルスゾーンだからこそ創り上げることが出来たものかも知れませんが。

第2曲は<シンフォニア>冒頭のモチーフと重厚な合唱で始まります。以降、ソプラノ独唱、テノール独唱、合唱、美しいソプラノの二重唱、合唱、心に響くコラルへと続きます。そして終曲では再び第1曲<シンフォニア>の冒頭に登場するモチーフが高らかに奏でられ、合唱が主への賛美を歌い上げます。祈りに満ち溢れた大曲ではないでしょうか。

(大阪シンフォニッククワイア/)

練習日	火曜クラス	水曜クラス	木曜クラス	入団希望の方
時間帯	10:30~12:30	18:30~20:30	18:30~20:30	直接会場へお出で下さい。
開始日	2021年4月6日	2021年4月7日	2021年4月8日	
会場	カトリック香里教会	枚方市総合文化芸術センター別館 (旧メセナひらかた会館)	天満橋・ドーンセンター 大淀コミュニティセンター	京阪・地下鉄「天満橋」 徒歩5分
指導者	湯浅卓雄(本番指揮) 石原祐介・湯浅茂子・松原 友・宮脇貴司(ピアノ兼任)			当団では、新型コロナ感染防止対策ガイドラインを設けて、先生・団員の安全に配慮し、活動しています。
ピアノ	佐甲寿美・松園洋二・北口裕子・宮脇貴司・塚本芙美香			
会費	入団費：2000円 団費：月額3500円(学生2000円)			
募集期間	2021年6月末まで。 ※以降は、別途ご相談に依り入団して頂くことがあります。			
備考	※月1回程度。主に休日(土・日・祝)に3クラス合同練習があります。日程は凡そ半年前にお知らせします。 ※演奏会前の1ヶ月半~2ヶ月間、火曜クラス練習は、水曜クラス練習に合流します。 ※入団時何れかのクラスに在籍して頂きます。在籍クラスでの練習以外、どのクラス練習にも参加可能です。			



大阪シンフォニック クワイア入団申込書【メンデルスゾーン・交響曲第2番「讃歌」】

( )新規 ( )再入団 20 年 月 日

フリガナ	性別	男・女	年齢	歳	電話:
氏名	E-mail				FAX:
住所	〒				
希望曜日	火曜クラス(10:30~12:30)・水曜クラス(18:30~20:30)・木曜クラス(18:30~20:30)				
希望パート	ソプラノ(高・低) アルト(高・低) テノール(高・低) パス(高・低) 分からない				
大阪シンフォニック クワイアでの合唱経験		有・無	他合唱団での合唱経験		有・無
知った方法	1. チラシ 2. ホームページ 3. OSC団員の紹介 4. その他( )				

【お問合せ先】岡副(おかぞえ):090-9110-2591 hikfe503@yahoo.co.jp この個人情報、合唱団の運営目的にのみ使用し、他用致しません。